

異常な天気といっても良いのかな？

異常な天気といっても良いのかな？内容によってはそう深刻にならない事もあるから。今回言いたいのは、4月なのに6月ころの夏日の気温が記録されたこと。結果が、良いものだったので、楽な気持ちになったけれど、逆に寒かったりすれば目くじらを立てて大騒ぎになるのでしょう。地震、火山の噴火、そして土砂崩れ、数え上げれば、まだまだ続く。



自然現象のみならず、行政機関の記録の改ざん、隠蔽などの責任逃れ、監督官庁や、任命者である行政官の責任回避、エリート公務員の意外な日常生活での脆弱さ等々、まあ目を閉じたくなります。このような人々の管理下に生活を余儀なくされている国民はどうすればよいのでしょうか。知らない所で、割に合わない事を強いられていることが、以外に多いのかも。わが国だけでなく、体制の異なる国においても、統治が長引いてくると、為政者は一般に横暴となり、より長く居座り、自己中心的に行動するようです。不都合な事は、見えなくなってしまうのか、見えない振りをするのか、いずれにしろ結果は有権者が騙されてしまうことになるのかな？ゴールデンウィークで始まる5月なのに、愚痴が長くなりました。雪解け完了しないうちの農作業開始、猫の手も借りたい季節ですね。くれぐれも体をいたわりながらお励み下さい。



テレビの放送で、日本の桜・ソメイヨシノは、一本の原木より株分けされたものであるということを知りました。すごい事ですね。数百年前に既に種子からの育苗は出来ない事が判明し、接木で数を増やす事を知り、更にその技術が出来上がっていたのですから。其の頃より日本民族は今に通じる細やかな技術力等を持ち合わせていたのでしょう。色々の場所での満開の桜を見るたびに、日本人の偉大さに思いをめぐらす事になるのでしよう。

出来る限り、自分を見つめ、周りの人からの助言を謙虚に受け取り、自己を見直す時間をより多く持つようにしましょう。空気の流れが良くなるようですよ。

平成 30 年 5 月 8 日 院長 清治 邦夫